

# キヤノン ガールズ・エイト

## 第 14 回 JFA 北海道ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会

### 実施要項

- 1 趣旨 日本<sup>の</sup>将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。小学生年代の活動の集大成、また中学生年代へのステップとして、小学 6 年生(U-12 年代)の女子選手全員の目標となる大会として位置づける。
- 2 名称 キヤノン ガールズ・エイト  
第 14 回 JFA 北海道ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会
- 3 主催 公益財団法人日本サッカー協会
- 4 主管 公益財団法人北海道サッカー協会 一般社団法人十勝地区サッカー協会
- 5 特別協賛 キヤノン株式会社
- 6 協賛 (調整中)大塚製薬株式会社
- 7 後援 北海道教育委員会、公益財団法人 北海道体育協会、帯広市、帯広市教育委員会、帯広市体育連盟、公益財団法人 北海道体育協会北海道スポーツ少年団
- 8 協力 株式会社モルテン
- 9 日程 2016年10月1日(土)~10月2日(日)
- 10 会場 帯広の森球技場(帯広市南町南7線56番地7)
- 11 参加資格 ① 「参加チーム」は、北海道内のブロック単位とし、地区協会選出の(トレセン)選抜チームとする  
② 「参加選手」は、大会実施年度 JFA 第 4 種登録を完了した小学 6 年生の女子選手とし、出場する複数チームに重複して参加することはできない。また、健康であり、かつ保護者の同意を得ていること。
- 12 参加チームとその数 各地域及びブロックの参加チーム数は以下の通りとする。  
地域 参加チーム数 内訳 北海道 8チーム  
札幌ブロック2、道央ブロック1、道南ブロック2、道東ブロック2、道北ブロック1
- 13 大会形式 (1) ① 1 次ラウンドは出場 8 チームを 4 チームずつの2グループに分け、1 回戦総当たりリーグ方式により順位を決定し、上位 2 チームが決勝トーナメント、下位 2 チームが交流トーナメントに進出する。2 次ラウンドは 1 次ラウンドの順位により決勝トーナメントと交流トーナメントに分かれ、ノックアウト方式により優勝、準優勝、第 3 位チームを決定する。  
② 8人制3ピリオド制で行う。1チームの登録選手は18名必須とする。スタッフは監督・コーチ・帯同審判は各1名、計3名とする。監督・コーチのいずれかを女性とする。帯同審判はユース審判員か女性審判員とする。  
③ 大会期間中の10月1日(土)は、全チームの宿泊を原則とし、選手はレクチャーに参加し、指導者は指導者講習会に参加すること  
(2) リーグ方式の順位決定方法  
勝利 3 点・引分 1 点・敗戦 0 点の勝点の多い順とする。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。  
① 全試合の得失点差(総得点-総失点)  
② 全試合の総得点  
③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)  
④ ①~③の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。
- 14 競技規則 以下の項目については本大会規定を定める

- (1) 競技のフィールド  
可能な限り、天然芝及び人工芝フィールドにて行う。  
サイズは以下の通りとする。  
フィールドの大きさ : 長さ(タッチライン)68m × 幅(ゴールライン)50m  
ペナルティーエリア : 12m  
ペナルティーマーク : 8m  
ペナルティアーキの半径 : 7m  
ゴールエリア : 4m  
センターサークルの半径 : 半径 7m
- (2) 試合球  
株式会社モルテン「ヴァンタッジオ 5000 キッズ(F4V5000・4号球)」とする。
- (3) 競技者の数
  - ① 競技者の数:8名の競技者(内1人はゴールキーパー)が試合に出場する。
  - ② 交代要員の数:10名以内
- (4) チーム役員の数  
ベンチ入りできるチーム役員の数:5名以内
- (5) 交代の手続き
  - ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
  - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
  - ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。  
注)ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
  - ④ 交代について、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
  - ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- (6) テクニカルエリア:設置しない。
- (7) 競技者の用具
  - ① ユニフォーム 参加チームは、正副2色のユニフォームを用意すること。但し、準備出来ない場合の対応は主管地区サッカー協会が設定する。
  - ② 選手番号 参加選手ごとに大会登録された番号を使用する。
- (8) 試合時間
  - ① 36分(12分×3ピリオド)とする。各ピリオド間のインターバルは、選手総入れ替えに要する時間のみとする。
  - ② 試合時間内に勝敗の決しない場合は、以下の通りとする。リーグ方式の場合:引分け。ノックアウト方式の場合:延長戦は行わず、ペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。ペナルティーキック方式に入る前のインターバル:1分
  - ③ アディショナルタイムの表示:行わない。
- (9) 競技者の出場制限  
第1ピリオドと第2ピリオド間において、選手を総交代すること。第3ピリオドは交代自由とする。なお、全ての選手は1試合で必ず1ピリオド連続出場させること。また同一選手の出場は最大2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない。但し、事故・ケガ等で出場困難な選手が発生した時に限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認めるが、大会期間中1選手1回を原則とする。
- (10) 審判員  
主審1名、補助審判1名により行う。各チーム、女子審判員またはユース審判員を1名帯同すること。帯同できない場合は主管地区サッカー協会に申し出ること。帯同審判員は、大会期間中その業務に当たらせるものとする(スタッフが帯同審判を兼ねることはできない)。
- (11) 負傷者の対応  
競技中、主審が認めた場合に限り2名以内のチーム役員がピッチ内への入場を許可される。

(12) メンバー用紙の提出

試合開始 40 分前までに大会本部に提出すること。

\* 選手証の提出はそのチームの 1 つ目の試合のみとする。両チームのユニフォームを決定する

15 懲罰

(1) 大会規律委員会

本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

大会規律委員会の委員長は(公財)北海道サッカー協会4種委員長とし、委員については委員長が決定する。

(2) 警告・退場

本大会期間中に警告を 2 回受けた選手は、本大会の次の 1 試合に出場できない。

本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については規律委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

(3) (公財)日本サッカー協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

16 大会参加申込

(1) 参加チームは、以下の手続きを期日までに完了すること。

(2) 参加申込書は所定の用紙を E メールで申込先 A・B・C 宛に提出する。

(3) 同意書は郵送で申込先 B 宛に送付すること。

(4) 申込締切日：平成 28 年 9 月 8 日 (木) 17:00 必着

参加申込書に登録し得るスタッフは 3 名 (監督、コーチ、帯同審判)、選手数は 18 名を最大とする。(ポジションを GK、DF、MF、FW と記入すること。)

(5) ※ブロックで 2 チーム出場する場合、同じスタッフを登録することはできない。

申込先

A: 所属ブロックのユースダイレクター

B: (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-4 1

北海道フットボールセンター内

TEL 011-825-1100

FAX 011-825-1101

C: 一般社団法人十勝地区サッカー協会

〒080-0018 帯広市西8条南18丁目3-3 大西ビル内

TEL (0155)21-6626

Email: tfa@tokachifa.com

参加選手の変更は、所定の用紙 (登録選手変更・追加用紙) に記入し、

平成 28 年 9 月 15 日 (木) 17:00 までに

申込先 A・B・C に E メールで送付すること。これ以降の変更は認めない

17 参加料

大会参加料は無料とする。

18 選手証

各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証 (カードの選手証または電子選手証) を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※電子選手証とは、本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・大会申込書を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

19 表彰

表彰 優勝・準優勝・第 3 位を表彰する。

- 20 交通・宿泊 参加チーム選手及びスタッフは下記の指定された宿泊施設に宿泊すること。
- (1) 宿泊日:平成 28 年10 月 1日(土)  
宿泊所:十勝川温泉 笹井ホテル TEL 0155-46-2211  
ホテル大平原 TEL 0155-46-2121  
宿泊費:1泊2食付き(笹井)子ども・大人とも9330円、(大平原)子ども8250円・大人10920円  
問い合わせ先:(株)近畿日本ツーリスト株式会社 北海道帯広支店 TEL 0155-25-6875(担当:米田)
- (2) 10月1日(土)1泊分の宿泊費について、参加選手18名分と指導者2名及び帯同審判1名分の合計21名分の宿泊費の一部を補助します。参加選手・指導者・帯同審判の自己負担費用の金額と納入方法については申し込み完了後、費用が確定次第、参加チーム代表者に連絡します。
- ※参加申し込み後に選手の不参加(ケガ等)が分かった場合はキャンセルしますので、9月26日(月)までに次の連絡先へ必ず連絡すること。  
連絡先:(公財)北海道サッカー協会4種委員会(担当:中川) TEL090-9511-3981
- (3) 交通費として、登録した参加選手分の人数と距離を考慮し、規程に基づいた金額を補助します。但し、開催ブロックチームへは補助しません。金額については確定次第、チーム代表者に連絡します。
- 21 傷害保険 参加チームの責任において、選手は傷害保険に加入すること。
- 22 応急処置 大会期間中、選手に疾病・傷害が発生した場合、主管地区サッカー協会は応急処置のみ行うものとする。
- 23 荒天時対応 荒天等の場合は、計画した試合スケジュールを調整し柔軟に対応する。
- 24 その他 本大会において優秀な選手は、北海道U-12 エリートに召集する。